



長谷川知一教授

長谷川知一教授「退休記念号」

発刊にあたって

昭和39年4月、東海学園女子短期大学創設——長谷川知一先生の数あるご功績の中で、まず挙げられるのが、本学の設立に際してのご活躍です。椎尾辯匡先生・林靈法先生の意を体して設立準備のメンバーの要として、まさに寝食を忘れてのご尽力でした。

そして、椎尾学長、林副学長のもと、学生部長として、本学の運営全般にわたってその力を発揮され、今日の東海学園女子短大発展の礎を築かれ、黎明期における重責を全うされました。

学生部長に続いて、教養教職科長、現在の就職部長と、常に学内中枢の役職を歴任、教育研究体制や施設の整備充実をはじめ、学生指導や後進の研究者養成など、その功績は、本学発展の過程の中に随所にうかがうことができます。

こうした多忙な要職にもかかわらず研究面でも顕著な業績を多数発表され、カリフォルニア大学院から経済学博士号を授与され、学術論文はもとより、『商業地域形成史』『生活の経済学——ガートルーズ・ウィリアムズ紹介——』など数編の著書にその研究成果の結晶があらわされています。

長谷川知一先生は、昭和64年3月、定年ご退休されますが、本学二十五年の歴史に刻まれた先生のご功績は、永遠の記録として、今後も、この東海学園女子短期大学の発展とともに歩んでゆくことでしょう。

東海学園女子短期大学

学 長 村 瀬 忠 雄